

このお知らせは、下記課題名の研究にご協力いただきました皆様に、データの2次利用についてお知らせするものです。

- R0027: fMRI を用いた、統合失調症患者およびその第一度近親者の、認知処理能力と脳構造・脳機能との関連についての研究  
(研究責任者：京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 村井俊哉)
- C0809: 反復性経頭蓋磁気刺激法 (rTMS) によるうつ病の脳構造・機能変化についての研究  
(研究責任者：京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 村井俊哉)

#### 【お知らせの主旨】

今回のお知らせの主旨は、上記研究課題における研究用データの一部を、他の研究に2次利用することについてご案内するというものです。精神疾患の原因解明や、効果の大きい新しい治療法の確立などを目指す研究では、脳画像などの研究資源が重要な役割を果たしています。しかし、個別の研究グループが、これらのリソースを短期間に多数収集することは容易ではありません。近年、精神医学分野の研究に真の飛躍をもたらすために、このような研究リソースを画一的に品質管理して、複数の研究機関で相互運用することが重要であるとの認識が広まりつつあります。

そこで、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 「戦略的国際脳科学研究推進プログラム」に対して、匿名化した研究用データを共同研究機関と共有する、あるいは共同研究機関が管理・運営するデータベースへ提供することになりました。また、匿名化したヒト MRI データセットおよび霊長類 (マカク・マーモセット) MRI データセットが、あわせて解析されます。さらに、匿名化したデータをオープンアクセス可能な公開データベースに対して提供します。

なお、今回は本学以外の研究機関にデータを提供することになりますが、提供に際しては個人が特定されないよう、個人情報の保護に十分留意します。具体的には、個人情報を登録番号等に置き換えて匿名化されたデータを提供します。研究成果を公表する際にも、個人名が特定されることはありません。

**【同意の撤回などについて】**

本研究にご協力いただきました皆様もしくはご家族の方で、今回の件についてご同意いただけない方は、下記へご連絡くださいますようお願い申し上げます。お申し出により、診療上等の不利益を被ることはございません。ただし、既に論文として公表されていたり、解析が済んだりしたデータ等につきましては、撤回に応じることができない場合がございます。その場合でも、追加の解析には使わないようにいたします。

お問い合わせ、研究への利用を拒否される場合の連絡先：

〒606-8507

京都市左京区聖護院川原町 54

京都大学大学院医学研究科精神医学教室

Tel: 075-751-4947（担当者名）松本有紀子、吉原雄二郎、高橋英彦